

平成25年度採用分海外特別研究員

申請書提出にあたっての事務担当者用チェック要領

申請書類をとりまとめて本会あて提出いただくにあたり、例年、申請資格不備、書類不備にて選考の対象外とせざるを得ない案件が発生しております。各機関におかれましては、いま一度、中身を精査していただくようお願いいたします。

今回の申請における申請書類の提出方法、また特に注意して点検いただきたい事柄を、以下に掲げますので、提出前に確認してください。

また、本事業は「電子申請システム」で申請受付を行います。申請者から提出される「申請書」は、「電子申請システム」に入力した情報を印刷する「申請書情報」と Word や手書き等で作成される「申請内容ファイル」を併せたものです。

申請者が「電子申請システム」内で一度「完了」の処理をした「申請書情報」の記載内容を訂正する場合、事務担当者は「電子申請システム」内で当該申請者の「申請書情報」の「却下」の処理をします。その後、申請者本人が「電子申請システム」上の情報を訂正し、再度「完了」の処理をした後に印刷される「申請書情報」を提出させてください。

なお、いったん取りまとめて本会に提出いただいた後に、追加することは認められませんので、ご注意ください。申請書提出後、論文の採録決定を証明する書類等を改めて送付する申請者が見受けられます。本会では一切受理できませんので、募集の周知の際にその旨を申請者へ必ずご指導ください。

1. 申請書類の提出方法について

(1) 提出する申請書類は、「申請件数一覧（別添1）」、「申請リスト（別添2）」を上にして、各申請者より提出された「申請書」・「評価書」を「申請リスト」の順に重ねて提出してください。

(2) 「申請件数一覧」と「申請リスト」については、本会の「電子申請システム」より印刷してください。

※「電子申請システム」より出力した「申請件数一覧」ファイルにより印刷ができない場合には、「電子申請システム」の出力画面の注意書き中の「こちら」より Word ファイルを出力することができますので、そちらに件数等を手動で入力し、印刷してください。

(3) 「申請リスト」は、部局順・受付番号順に申請者が掲載されます。（受付番号は、申請者が「申請書情報」の入力を完了した際に自動的に付番されます。）

(4) 各申請者から提出された申請書は、以下の順番に重ね、1件ずつクリップ留めしてください。

①「申請書原本」：「申請書」並びに各種添付書類（以下参照）を1部ずつ重ねて左上をホチキスでとめたもの……………1セット

※全員が添付する書類

- ・受入意思確認書（所定様式）
- ・海外における受入研究者との打ち合わせ状況を示す主要な往復文書

※該当者のみ添付する書類

- ・「論文等の採録決定を証明する書類」、「国際会議等の発表申し込みの受理を証明する書類」、「語学能力検定試験の証明書」
- ・「外国人登録済証明書」、「臨床研修の期間を証明する書類」、「海外の受入研究機関に関する説明書・パンフレット」

なお、添付書類が複数ある場合の添付順は下図（申請書の組み方）を参照してください。

②「申請書写し」：「①申請書原本」のコピー……………6セット

※「臨床研修の期間を証明する書類」、「外国人登録済証明書」、「海外の受入研究機関に関する説明書・パンフレット」は除く。

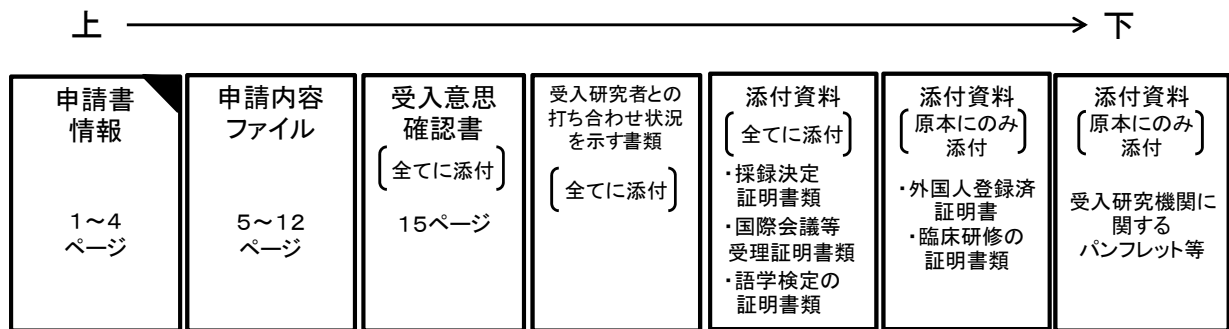
（上記証明書類は「①申請書原本」にのみ添付してください。）

③「評価書」：原本1部及び写し6部が厳封されている角2封筒（1名分。）

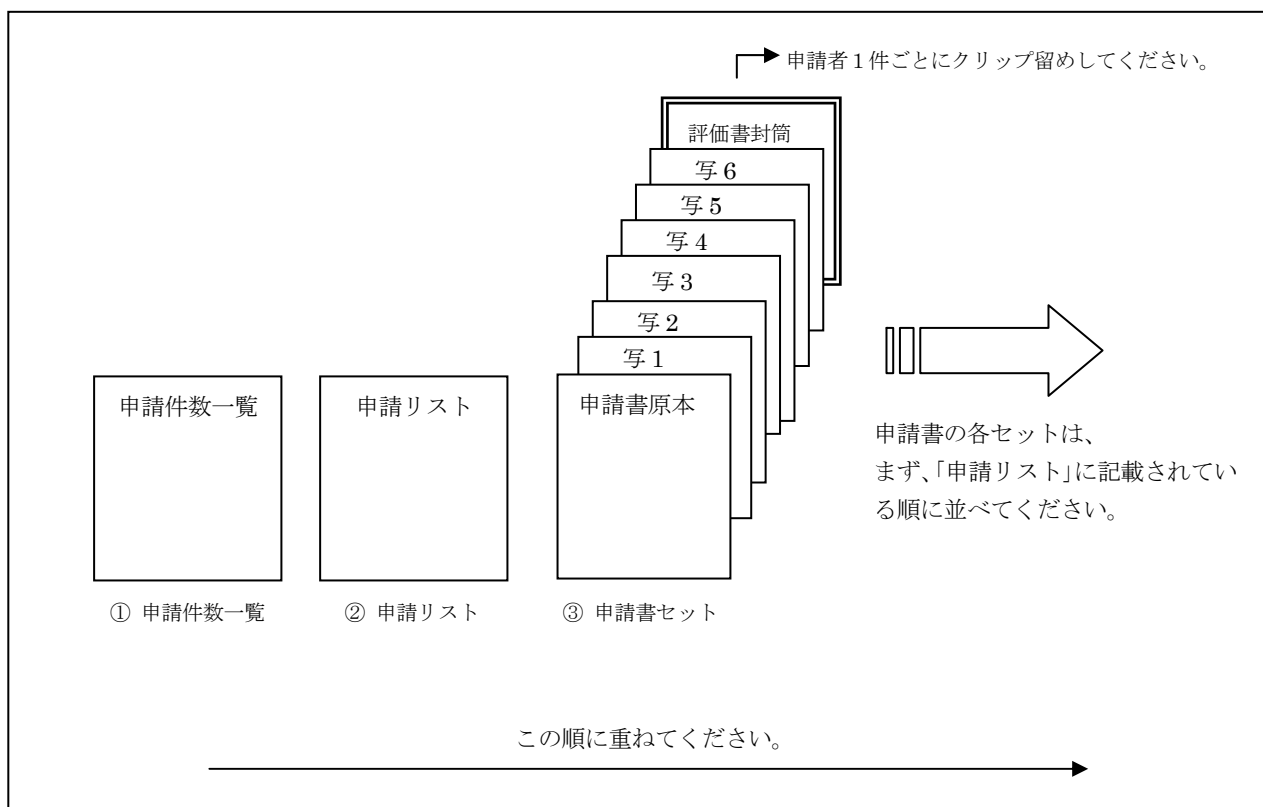
(参考) 申請書の組み方

下記の順番で重ね、左上をホチキスでとめてください。

(添付書類については、該当するもののみ、記載の順番で添付。)



(参考) 申請書の取りまとめイメージ



2. 申請書のチェック項目について

- 1) 「申請リスト」に印刷された申請者の申請書が全て貴機関に提出されているかを確認してください。
また、「電子申請システム」より印刷した「申請件数一覧」の申請件数と「申請リスト」の件数が一致しているかを確認してください。
- 2) 機関で申請書を取りまとめる際に印刷する「申請リスト」に印字された版数と申請者から提出された「申請書情報」の1ページ目の左上に印字された版数が同じであるかを確認してください。
※ 申請者が「電子申請システム」内で「完了」処理を実行していない状態で印刷した申請書情報には、「提出確認用」と表示されます。「提出確認用」と表示された申請書情報が提出された場合には、申請者に申請書情報確認画面で「完了」処理を実行するように指示し、「提出確認用」と表示されていない申請書情報を提出させてください。
※ 申請書情報の版数は、申請者が「電子申請システム」内で一度「完了」ボタンを押して確定させた「申請書情報」を、内容不備等のため申請機関から一旦「却下」した後、申請者が再度「完了」ボタンを押すと更新されます。版数が異なる場合には、「電子申請システム」上にある「申請書情報」と申請書に記載された「申請書情報」が異なっていますので、注意してください。
- 3) 「申請リスト」に記載された添付書類が、該当する申請者の申請書に漏れなく添付されているかを確認してください。
・申請者が「電子申請システム」で「申請書情報」を入力する際に、申請にあたって該当する添付書類を申告しています。申告された内容が「申請リスト」に表示されていますので、添付し忘れないかを確認してください。

「申請リスト」の「添付書類」欄に表示される略号は以下のとおりです。

語 = 語学能力検定試験の証明書

外 = 外国人登録済証明書

臨 = 臨床研修の期間を証明する書類

- 4) 今年度から部局コードを4桁にしました。これに伴い、従来使用していた「その他のコード(999)」についても、各部局名に対応したコード番号を新規に作成しました。各項目の部局名について、新規コードに基づく部局名が入力されているか確認してください。なお、「部局コード一覧」に該当のない部局名の場合は、「9999(その他)」を使用してください。

その他、「平成25年度採用分海外特別研究員申請書作成要領」に即して記入されているか、確認願います。

5) **必要な書類が揃っているか、不必要な書類がないかについて**

- (ア) 「申請書」は両面で12ページあります。「申請書情報」1～4ページと「申請内容ファイル」5～12ページ) 原本、写しともにページの抜け落ち、両面印刷のミスがないか、必ずご確認ください。たとえページが抜け落ちていても、そのまま審査を受けますので、適正な審査結果が得られなくなります。

- (イ) 申請者が作成する提出書類は「申請書」、「評価書(1名分)」の2種類です。その他に全員が添付する「受入意思確認書」と「海外の受入研究者との研究についての打ち合わせ状況を示す主要な往復文書」、また、該当する申請者のみ添付する「*外国人登録済証明書」、「*臨床研修の期間を証明する書類」、「*海外の受入研究機関に関する説明書・パンフレット等」、「論文等の採録決定を証明する書類」、「国際会議等の発表申し込みの受理を証明する書類」、「語学試験結果の証明書」を申請書に添付します(*印は原本のみに添付)。印刷済の論文等の採録決定を証明する書類、論文の別刷等を添付する申請者が見られますが、そのような場合は、各事務担当者において必ず取り外してください。

6) **申請資格等を満たしていることの確認について**

(ア) **年齢について**

申請できるのは、採用年度の4月1日現在の年齢が、募集要項に記載の年齢要件を満たす者です。(具体的には、平成25年度採用分については平成25年4月1日現在の年齢が年齢要件を満たす必要があります。)

医学、歯学又は獣医学系の博士課程を修了、あるいは在学している者に係る年齢要件については、特に注意してください。なお、ここでいう医学、歯学又は獣医学系の博士課程は、4年制の博士課程を指します。医学、歯学又は獣医学系の研究科等であっても、「博士(医学)」「博士(歯学)」「博士(獣医学)」を授与しない3年制の専攻の場合は区分制として取り扱います。

(イ) **博士の学位等について**

次のいずれかでないと申請できません。

・平成25年度採用分については平成25年4月1日までに学位を取得している者(申請時においては見込みでも良い。)

・平成25年度採用分については平成25年3月31日までに、人文学・社会科学の分野で学位の取得が著しく困難な分野を専攻する者で、国内の大学院博士課程に標準修業年限以上在学し、所定の単位を修得の上退学する者(いわゆる満期退学者)

(ウ) 外国人の申請について

我が国に永住を許可された外国人は申請できます。(在留資格が「留学」、「日本人の配偶者」等の場合は、申請できません。)申請にあたっては「外国人登録済証明書」等の添付が必要になりますが、本会への提出前に在留資格を確認してください。

7) 「⑩大学院博士課程」と「⑪学歴」の記載内容について

「⑩大学院博士課程」欄の入学年月等の記載内容と、「⑪学歴」欄に記載された学部及び修士の学歴と、のあいだに、矛盾している点がないかを確認してください。

8) 「⑬現在の所属機関」について

職名、任期の有無が正確に記入されているかを確認してください。

9) 「⑭申請資格」について

機関として常勤研究者と認識している者以外が資格(I)を選択していないかを確認してください。

10) 「⑯派遣を希望する期間」について

必須添付書類である「受入意思確認書」に記載の派遣期間と相違がないかを確認してください。

11) 「⑳希望連絡先」について

希望連絡先として所属機関の住所を選択している場合、確実に郵便物等が届く住所であるか確認してください。

(機関により異なりますが、研究室名等の必要な情報が記載されているかを確認してください。)

12) 「㉑現在の受入研究者」について

所属機関、部局、部局種別、職名が正確に記入されているかを確認してください。

13) 「㉒大学院での受入研究者」について

(ア) 大学院での受入研究者とは、区分制でいう、大学院博士課程在学当時の研究指導者を指します。区分制でいう、大学院修士課程ではないので注意してください。

(イ) 所属機関、部局、部局種別、職名が正確に入力されているかを確認してください。

14) 「㉓海外における受入研究者」について

所属機関、部局、部局種別、職名が正確に記入されているかを確認してください。

15) 「㉔評価書作成者」について

必ず1名からの評価書が提出されているかどうか、また「㉔評価書作成者」欄に記載されている者によるものかを確認してください。

【申請書情報及び添付書類のチェック箇所】

申請書情報（Web上で入力）部分の必須項目、桁数チェック等の基本的なチェックは電子申請システム上で行っています。上述の注意事項に留意した上で、申請書情報及び添付書類等のチェックは下記の項目について行ってください。

申請書1～4ページの「申請書情報」は、「電子申請システム」より印刷してください。

平成25年度採用分
海外特別研究員
申請書

①審査領域 ②分科 ③細目 ④分科・細目コード ⑤専門分野 ⑥○○○○○学

1. 申請資格等 (所属機関コード: 〇〇〇〇)

⑥D 登録名 学籍 花子 ⑦性別

⑧国籍 ○○○○ ⑨生年月日 ○○○○年○月○日

⑩大学院博士課程 (出身または在学中)

⑪学歴 (学部、修士、博士)

⑫研究・職歴等

⑬現在の所属機関

⑭申請資格 (1) 海外特別研究員 終了後の進路

申請者登録名

⑩現住所 ⑪所属機関 (所在地・機関名・郵局等名) ⑫希望連絡先

申請者登録名

A：P. 1の右上隅

余白が生じている場合、フェルトペン・マジック等で塗りつぶしてください。

B：版数

「1版」以上の版数となっているか、また「申請リスト」に記載される版数と一致しているかを確認してください。

C：専門分野

誤って「分科細目コード」（4桁の数字）を入力していることが多々ありますので、正しく漢字等で記入されているか確認してください。

D：申請者氏名

指定の登録方法で登録されているか確認してください。（「電子申請システムによる申請手続の概要（申請機関担当者用）」P. 12参照）戸籍名は機関担当者が登録し、登録名およびローマ字表記は申請者が電子申請に入力します。

E：国籍

国籍が外国籍のため外国人登録済証明書の提出が必要な者の申請書には、この箇所に「外国人登録済証明書（永住許可）を添付」という文言が印字されます。申請書に当該証明書が添付されているか、また在留資格が「永住者」となっているかを確認してください。

F：臨床研修の実績

臨床研修の期間を証明する書類の提出が必要な者（医学、歯学又は獣医学の分野で採用年度の4月1日現在35歳若しくは36歳となる者）の申請書には、この箇所に、例として「医学（平成12年改正医師法に基づく臨床研修を修了）」というような文言が印字されます。申請書に当該証明書が添付されているか、証明書の内容が申請要件を満たしているかを確認してください。特に、36歳となる者の申請が可となる条件である医師法（平成12年の改正法）により義務付けられた臨床研修とは、**平成16年4月1日**の施行日以降に開始された初期臨床研修のことです。それ以前より臨床研修をされている場合に

は該当しませんのでご注意ください。

G：現在の所属機関・申請資格

所属機関における「職名」及び「任期の有無」に誤りがないかを確認してください。

また、申請資格(I)については、所属機関が常勤研究者であると認識している場合にのみ選択可となります。常勤研究者ではないにもかかわらず、申請者個人の判断で資格(I)を選択している場合には、ご指導ください。

H：派遣を希望する期間

申請書12ページの後ろに添付されている「受入意思確認書」に記載されている派遣期間と相違がないかを確認してください。

I：希望連絡先

連絡先を所属機関等に行っている場合、確実に郵便物等が届くよう研究室名等詳細な住所が記載されているかを確認してください。

◎現在の受入研究者	(フリガナ)氏名 (ローマ字)		
	科研費 研究者番号		
	所属機関名		
	部局名 職名	部局 種別	
◎大学院での受入研究者	(フリガナ)氏名		
	所属機関名		
◎海外における受入研究者	氏名 (英文)	(FAMILY NAME)	(First Name)
	職名 (和文)		
	受入機関名 (英文)		
	受入部局名 (英文)		
	受入部局名 (和文)		
	連絡先 電話番号: FAX 番号: Email 1:	(内線)	
◎評価書作成者	(フリガナ)氏名		
	所属機関名		
	部局名 職名	部局 種別	

- 3 - 申請者登録名

◎英語検定試験結果	言語: 英語	試験名称: TOEFL (1012)			
	級/スコア: 750	取得年月日: (西暦) 2000年9月15日			
	言語: 英語	試験名称: 国連英語 (1023)			
	級/スコア: 120	取得年月日: (西暦) 2009年11月3日			
◎自己評価	言語	読解力	作文力	ヒアリング力	会話力
	訪問先: 目的:				
	期間: (西暦) 年 月 日 ~ 年 月 日				
	◎海外における研究・留学歴				
	訪問先: 目的:				
期間: (西暦) 年 月 日 ~ 年 月 日					
◎海外特別研究員制度における支援の必要性					

- 4 - 申請者登録名

J：「現在の受入研究者」等の研究者情報

貴機関に所属の研究者が記入されている場合、氏名や所属部局、職名等が正しく記入されているかを確認してください。

K：評価書作成者

申請書に添付されている「評価書」が、「◎評価書作成者」欄に記載されている者によるものかを確認してください。

L：語学検定試験結果

「語学検定試験結果」欄に結果を入力している場合、その試験の級/スコアの証明書(コピー可)が添付されているかを確認してください。

【この様式は見本です。】

「電子申請システム」より印刷してください。

別添1

様式A

平成 年 月 日

海外特別研究員〔平成25年度採用分〕
申請件数一覧

独立行政法人日本学術振興会 理事長 殿

所属機関 所在地

研究機関 名称

機関長職・氏名

職印

海外特別研究員〔平成25年度採用分〕申請書を下記のとおり提出します。

記

申請件数 件 (内訳別紙リストのとおり)

担当部局

担当者名

連絡先住所

電話番号

FAX番号

E-Mail アドレス

注) 別紙で申請者リスト(様式B)を添付すること

